

## 記入例

(防止啓発等活動推進事業補助金用)

名称	体験する脱炭素学習～ペロブスカイト太陽光電池を作ってみよう～
期間	令和8年11月23日(祝)
目的	小学生を対象に、地球温暖化・脱炭素に特化した環境学習を行う。体験型学習とすることで、脱炭素化の必要性を理解させ、具体的なアクションにつながるようにする。
内容	<p>(事業の実施日時・場所・対象者・参加予定人数・参加費・周知方法・事業実施方法等について述べること。)</p> <p>日時：令和8年11月23日(祝) 10時～12時 場所：〇〇〇〇大津駅前店 対象：小学校4～6年生 参加予定人数：30人 参加費：500円 周知方法：〇〇〇〇の店舗にて、ポスター掲示およびチラシ配布ならびにHP上での周知を行う。当会のSNSによる周知を行う。近隣自治会への回覧を依頼する。 実施内容：「ペロブスカイト太陽光電池を作ってみよう」と題し、色素増感太陽光電池制作キットを用いた体験型の工作と実験を行う。従来型の太陽光電池との比較を行い、その違いを学ぶ。 実施体制：「大津市から脱炭素の会」会員10名のボランティアにより行う。会員メンバーは、太陽光電池に関する知識を多く有しており、5～6人班に1名のスタッフがサポートに入ることで、生徒全員が等しく学ぶことができる体制とする。</p>
ポイント	<p>((1)公益性・公共性 (2)計画性・実現性 (3)事業の効果・インパクト (4)市域内外への波及効果 (5)事業継続性 について述べること)</p> <p>(1)公益性・公共性：小学生を対象とした環境学習であることから、公益性と公共性を兼ね備える。 (2)計画性・実現性：団体として、これまで10年以上に渡って小学校での環境学習を担った実績があり、その経験をもとに事業の計画及び実施をしていく。 (3)事業の効果・インパクト：これまで、従来型の太陽光電池を使った環境学習を行ってきたが、次世代型であるペロブスカイト太陽光電池を題材とすることで、環境学習として大きなインパクトを与えることができる。 (4)市域内外への波及効果：ペロブスカイト太陽光電池を題材とした環境学習は多く実施されていないことから、先進的であり、今後の環境学習への波及効果は計り知れない。 (5)事業継続性：先進的な事例となり、次年度以降も継続して実施することができる。</p>